

No. 892

球 春

中日ドラゴンズ

— 明 石 —

春を迎え、プロ野球も各地でキャンプたけなわ、2年連続Cクラスに甘んじた中日ドラゴンズは、兵庫県明石市営球場にキャンプをはって3年目水原監督以下各選手も今年こそとやる気充分、Aクラス突入を合言葉にトレーニングに励げみます。

中心打者、高木守、木俣は健在、昨年新人王、谷沢も今年は結婚で心機一転、2年目のジンスに挑戦です。小川、小野両投手なきあと、投手陣の主力は星野仙、エースを目指して練習に懸命です。今年は大いに期待にこたえてくれることでしょう。

札幌でまた会いましょう

— プレ五輪 —

札幌国際冬季スポーツ大会（プレ五輪）は二月七日の開幕以来八日間にわたって連日熱戦がくりひろげられました。

恵庭岳滑降コースで行なわれた男子滑降では、イタリアのマルエロ・バラロが1分55秒32で優勝、日本の富井澄博も健闘して第5位に入賞しました。

手稲山回転コースで行なわれた女子回転では滑降、大回転の二種目を制覇したフランスのファモーズのアルペン三冠に期待がかけられましたが100分の1秒を競う大接戦の末、西ドイツのシッターマイヤーが優勝、ファモーズの三冠は成りませんでした。

日本期待の鈴木恵一、鈴木正樹、肥田隆行の短距離トリオが参加する男子スピードスケートでは、鈴木恵一が振わず、スウェーデンの強豪バルエスが優勝、肥田が2位と健闘し来年の本番に希望をつなぎました。

氷上に華麗な演技を競った女子フィギアスケートでは日本の山下一美が2位に入賞。

90メートル級ジャンプでは笠谷幸生の金メダルに期待がかけられましたが、ノルウェーの新鋭インゴルフ・モルクに優勝をさらわれました。

二月十四日真駒内屋内スケート場で行なわれた閉会式では、来年札幌での再会を約し、八日間にわたる大会の幕を閉じました。

(昭和46年2月19日 封切)